

一次研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	乳房外パジェット病	
	タイプ	臨床専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Potential applications of intraoperative lymphatic mapping in vulvar cancer	
	論文の日本語タイトル	外陰癌における術中リンパ流マッピングの有用性	
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	PagetCQ7-2	
書誌情報	研究デザイン	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験 III. 非ランダム化比較試験 IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズ） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I V)	
	Pubmed ID	7590476	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Gynecol Oncol	
	雑誌 ID		
	巻	59	
	号	2	
	ページ	216-20	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995 Nov	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Levenback C,	Department of Gynecologic Oncology, University of Texas M. D. Anderson Cancer Center
	その他著者 1	Burke TW,	
	その他著者 2	Morris M,	
	その他著者 3	Malpica A,	
	その他著者 4	Lucas KR,	
	その他著者 5	Gershenson DM.	
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
その他著者 9			

	その他著者 10		
--	----------	--	--

一次研究の 8 項目	目的	乳房外パジェット病におけるセンチネルリンパ節生検の意義を調べる	
	研究デザイン	症例対照研究	
	セッティング	M. D. Anderson Cancer Center	
	対象者	21 人の外陰癌患者	
	対象者情報 (国籍)	1.日本人 2.日本人以外 3.国籍区別せず (3)	
	対象者情報 (性別)	1.男性 2.女性 3.男女区別せず (2)	
	対象者情報 (年齢)	1.乳幼児 2.小児 3.青年 4.中高年 5.老人 6.乳幼児・小児 7.乳幼児・小児・青年 8.乳幼児・小児・青年・中高年 9.乳幼児・小児・青年・中高年・老人 10.小児・青年 11.小児・青年・中高年 12.小児・青年・中高年・老人 13.青年・中高年 14.青年・中高年・老人 15.中高年・老人 16.乳幼児・青年 17.乳幼児・中高年 18.乳幼児・老人 19.小児・中高年 20.小児・老人 21.青年・老人 22.年齢区別せず (15)	
	介入 (要因曝露)	介入なし	
	エンドポイント (アウトカム)	エンドポイント	区分
			1.主要 2.副次 3.その他 ()
	主な結果	21 例中 18 例でセンチネルリンパ節を同定、5 例に転移がみられた。同定後郭清した非センチネルリンパ節には転移がみられなかった。	
	結論	術中リンパ流マッピングはセンチネルリンパ節の同定に有用である	
	備考		
	レビューワー氏名	八田尚人	
レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) 外陰癌患者の治療に色素を用いた術中マッピングを行った症例報告である。外陰のリンパ流が原発の部位によって両側に存在する可能性があること、個々の例でリンパ流に差がみられることが示されている。有棘細胞癌と乳房外パジェット病を同等に論じることはできないが、リンパ流の分布という点では参考になる報告である。		